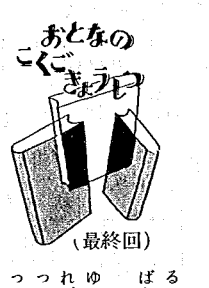

（最終回）

よむことのすすめ

おとなのこくごきょうしつの最終回は、やはり〝よむことのすすめ〟で千秋楽の桝を入れることにします。

この夏休みの校長旅行で、京都の自由時間がとれましたので、おしぼりの出る近鉄特急で奈良へ直行しました。興福寺の国宝館を訪ねるためにです。

いま、毎日新聞に井上靖が「流沙」という小説を書いています。その小説の主人公、章子が、友達のみゆきとこの国宝館に入り〝仏頭〟と阿修羅像を前にして愛について、ピアノについて、生き方について語り合っています。少し引用してみますと、

×××××××

みゆきが立っている前には、大きな仏像の顔だけが置かれてあった。そして、その像の前には〝仏頭、銅像、白鳳時代〟と記された札が置かれてある。

「ちょっと来て下さらない？　見て頂きたいものがあるの」「さっきから、こればかり見ているの」

この国宝館に入ると、みゆきは他のものには眼もくれず、まっすぐにここへやってきて、そしてここに立ったまま動かないのである。

「こちらから見てごらんなさい」

なるほどいい顔だなと章子も思った。まるで無心の童女の顔である。

「笑ってるみたいでしょう」

確かに笑っているように見える。半眼を開いて無心の笑顔を見せている。眼も口も鼻もおお振りで、朗々としている。

×××××××

私は、井上靖がみゆきを介して観たであろう〝仏頭〟に、持参した新聞の切り抜きをひろげながら相対していました。

井上靖が、毎日新聞に、「流沙」を載せることになったとき、すぐ朝日を止め毎日に鞍替えしました。永年読み慣れ親しんできた朝日であり、特に日曜の朝日歌壇・俳壇は、十何年もスクラップ・ブック作りをしてきたほど愛着があったのに、それを何のためらいもなく打ち捨て、毎日に身売りをしてしまうのです。昨年の十一月一日からです。

井上靖を読むということの盲執に近いまでの傾倒ぶりを御笑覧ください。

読むとは、いつの場合でも、息苦しく、詰めた、重い作業だなと決して思ってもいませんし、そういう読み方が立派だなど言うつもりもありません。

デモネ、今朝の日曜日、六時からの朝泳ぎを終え、FMをかけて、「流沙」の切り抜きをしていたら、シャンソンの〝枯葉〟が流れてきたのです。秋ですワネ。

フト△△しくなって「私って何」などと年がいもなく思いこんだとき、私には井上靖がいる。と声に出して揺れを静めてみました。

妻がいる。夫がいる。子がいる。いることはいるのだが、そうした腥い代物でなく、絶対の対象者として井上靖がいる。そうつぶやけそうです。私が井上靖を読むとは、いのち満ち足りることにて御座候。

（須田英夫）

〔係から〕

ご愛読ありがとうございました。須田先生の「おとなのこくごきょうしつ」は、今回で終わらせていただきます。

パーソントリップ調査

ご協力ください

十月中旬から十一月上旬にかけて、当市を含む新潟市を中心とした十八市町村で、パーソントリップ調査が実施されることになりました。この調査は、人（パーソン）の動き（トリップ）を中心にして行うもので、ある一日について、みなさんが出かけた場所、利用した交通機関の種類や利用回数などを調べます。そしてこの結果は、総合的な交通計画をたてるために役立てられます。

調査の方法

新津市の中から六％（百世帯に六世帯）の割合で無作為に選ばれた家庭の満五歳以上の方に調査票の記入をお願いします。そして、調査日の一日か二日前に新潟都市圏パーソントリップ調査実施本部から調査員が調査票をもってご家庭を訪問し、記入方法などを説明して、後日再び調査票の回収にうかがいます。

なお、選ばれたご家庭には、あらかじめハガキで調査についてのご協力をお願いするとともに、調査日の一週間くらい前に、調査員の訪問日をハガキで連絡させていただくものです。

調査についてのくわしいことや不明な点については、次へお問い合わせください。

新潟都市圏パーソントリップ調査実施本部　〒九五一

（ニューニイガタビル内）

☎〇二五二（二四）七四五七

ホヤホヤの技術で奉仕活動

さきごろ、公民館満日分館の園芸部で松のせん定の講習会を開きました。当日は140人もの人がつめかけて熱心に受講。講習会後、さっそく覚えた技術を生かして、満願寺公園の松のせん定の奉仕活動を行いました。

お買物、ご用命は市内で

看板■車輌文字専門
技術本位……
有限会社
ニ本看板店
新津市本町1　TEL (2)－1380

ビデオ カセット レコーダー
いま据えつけて支払いは12月から
新町2丁目
田村電機商会
TEL 2・0653